

大和小学校・若宮小学校統合委員会 要点記録

第 13 回

開催日時	平成 28 年 10 月 31 日(月) 午後 6 時 00 分～7 時 40 分	
開催場所	大和小学校 会議室	
出席者	委員	伊藤英男、北村勝、国定明美、関根仁美、稲尾公貴、和泉智乃、大谷正枝、風見尚征、福嶋晴美、林朱実、長岡知恵、長尾久仁子、石澤美佐紀、堀江政人、佐藤民男、堀聡明、松久保雅和、鈴木優介、板垣淑子、浅野昭 (敬称略、順不同)
	事務局	学校再編担当、子ども教育施設担当 パシフィックコンサルタンツ株式会社
会議次第	【議事】 1 統合新校の校舎(大和小学校)の改築について 2 その他	

第 13 回 大和小学校・若宮小学校統合委員会 会議要旨

1 開会

委員長

これより第13回統合委員会を開催する。

本日、傍聴者はいない。前回に引き続き、教育委員会の施設担当者とパシフィックコンサルタンツ株式会社の方が出席している。よろしく願いたい。

委員長

議事に入る前に、報告事項があるとのことなので先に行う。事務局の説明を求める。

(1) 美鳩小学校の校章デザイン等の報告について

■資料「美鳩小学校の校章デザイン、校旗及び学校指定品等について」事務局から報告
(概要)

前回の統合委員会で取りまとめた校章デザインについて、10月6日に教育委員会への報告を行った。校章にあわせて、校旗、学校指定品等についても報告した。

1 校章デザイン

校章デザインは、大和小学校・若宮小学校の児童・保護者、地域の方などからデザイン案を募集し、それをもとに専門家にデザイン化を依頼して検討した結果、下図のとおりとする。

【校章の説明】

この校章は、統合する大和小学校と若宮小学校の子どもたちや関係者などから広く図案を募集し、応募作品の中から大和小学校・若宮小学校統合委員会での検討を経て定められたものです。

校章に描かれた枝は、若木をイメージしており美鳩小学校で成長する子どもたちを表しています。



鳩は、平和の象徴であることから、子どもたちがお互いの良い所を見つめ合い、仲良く育っていくことを表しています。また、飛び立つ鳩のように、子どもたちがこの地域から大きく羽ばたいて、日本や世界の未来を担う人物になって欲しいという願いが込められています。

2 校旗

校旗の地の色は、協議の結果、青系統とする。そのほかの部分については、大和小学校・若宮小学校と教育委員会とで協議して決めてもらうこととする。

3 学校指定品等

学校指定品等の品目・デザインなどは、統合委員会での意見を参考に、大和小学校・若宮小学校で協議して決めてもらうこととする。

委員長

続いて、「想定される児童数・学級数について」事務局の説明を求める。

(2) 想定される児童数・学級数について

■資料「学級数の推計と普通教室数」について、事務局から報告 (概要)

美鳩小学校は、統合時の平成29年度の学級数は20学級の推計だが、1年生が100人超で推移しており、平成34年度には23学級になると推計している。

平成35年度以降は全学年が4学級となる可能性があることから、普通教室は24教室用意することを基本とする。

なお、1、2年生は1学級を35人としていることから5教室用意し、3～6年生で1教室余裕をもたせる。全体として、普通教室は24教室に3教室を加え、27教室とする。

委員長

今の説明について意見等あるか。

委員

普通教室の数について説明があったが、特別支援学級は教室数を幾つぐらいで考えているのか。現在、大和小学校の特別支援学級は2学級だが、それがどのくらいになるのか教えて欲しい。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

中野区の標準仕様に基づき面積を考えているが、特別支援学級は普通教室の半分のものを3教室分用意している。あとは運営上、どれくらい教室数が必要なのか検討していくことになると思う。

委員

大和小学校は特別支援学級が2学級だが、あと3、4人増えれば3学級になるし、統合するともっと増える可能性がある。そういったことも視野に入れて検討してもらいたい。

委員

西中野小学校と鷺宮小学校の統合に伴いしらすぎ学級がなくなる前に、美鳩小学校の特別支援学級に入れておいたほうが子どもの変化が少ないと考える保護者が多いのではないかと思った。そういったことも考慮して検討してもらいたい。

事務局

区全体の配置ということも踏まえて考えていくことになる。

委員長

他に何かあるか。

委員

若宮小学校は21学級まで対応できるように整備してもらったが、これ以上普通教室に改修する

教室がない。21学級より数が増えた場合の対応も考えておく必要がある。

委員長

他に何かあるか。なければ、報告を終了して議事に入る。

2 議事

議事(1)統合新校の校舎(大和小学校)の改築について

委員長

それでは議事に移る。統合新校の校舎の改築について、設計会社から説明をお願いします。

■「統合新校の校舎(大和小学校)の改築」について、設計会社から説明(概要)

1 前回統合委員会で頂いたご意見

- ・統合委員会では、施設整備についてどのような議論をすればよいか。
⇒この場で大きなゾーニングや方針を議論してもらいたいと考えている。
- ・若宮小では、芝生校庭となっているが、新校ではどうするのか。校舎が南配置案では、校庭が日影となり、芝生校庭はできない。
- ・100mの直線が取れる校庭が望ましい。
- ・実際に学校で使用している直線コースが50mである。
- ・校庭を広くするために、10m以上の建物、4階、5階の建築はできないのか。
- ・キッズ・プラザとはどのようなものか。
⇒児童が家に帰らずに利用できる施設である。
- ・南側配置で校庭が広く取れるのであればそれでもよい。さらに、北側道路に積もった雪が溶にくく危ないので、そういった点では利点もある。
- ・南側配置とした場合、雨が降った場合、水はけしにくくなるのではないか。そういった事例はあるのか。朝礼をする際にも、不具合が生じるのではないか。
- ・校舎配置については、既存と同じように考えた方が、新たな問題が少なく済むのではないか。
- ・子供の育つ環境として、南に広く、明るい校庭の方がよいのではないか。
- ・多目的な部屋やフリーな部分も多く取り入れてほしい。
- ・児童の入り口について、現正門と、北の方に2か所設けるのが望ましいが、管理ができるのか懸念がある。
- ・児童の登校する方向を考え2カ所設置はよいと思う。管理についてはできると考えているが見通しがよい施設計画などの配慮も期待している。
- ・周辺の民家への対応として、音への配慮も必要である。
- ・動線の考え方として、1案のように北側からの搬入、入り口を追加して配置するのは、自然ではないか。
- ・東側に正門がある方が正門らしいしつらえができるのでよい。
- ・学校農園をどこかに配置してもらいたい。屋上でもよい。
- ・敷地の南側には、住居が多く、陽当たりの問題は良くとも、音の問題で新たな住民トラブルも心配である。
- ・谷原小では、図書館とPCルームを扉で繋いでおり、メディア機能をまとめていた。
- ・谷原小の天井は低いと感じたが、そういった点についてもよく検討してもらいたい。
- ・児童が一番長くいる部分はどこか考えて検討してほしい。

2 計画条件

- ・用途地域については第一種低層住居専用地域である。
- ・敷地の条件として、高さ制限は、道路・隣地斜線、第2種高度地区、絶対高さ10mとなって

いる。

- ・道路は東西南北に接しており全ての方面からアプローチできるが、東側は幅員が広く、現在正門として利用されている。北側の道路は、通過する車両の多い道となっている為、安全性の配慮が必要である。

3 現在の校庭について

○大和小学校

校庭合計面積 5,431㎡ ※施設台帳上

トラックの長さ 135.36m(5コース) 直線距離60m

○若宮小学校

校庭合計面積 6,290㎡ ※施設台帳上(内、芝生地2,145㎡)

トラックの長さ 135m(5コース) 直線距離50m

4 施設配置 イメージ1

- ・従来校舎配置案
- ・3階建て、北側の一部2階建て案
- ・校舎はLの字型プランとし、全面中廊下型としている。
- ・普通教室は2～3階に設け、南、東向きの教室としている。
- ・特別教室は、1～3階に設け、北側に面した配置としている。
- ・管理諸室は、管理のしやすさを考慮し職員関連の室は、1階の中央に配置し、校庭に面した配置としている。その他の室は2～3階に配置している。
- ・特別支援学級は、採光と災害時の避難を考慮し、1階南側の校庭に面して配置している。
- ・給食室は敷地北側に配置し、搬入経路を児童の動線と離している。
- ・体育館は別棟としている。
- ・キッズ・プラザと体育館は利用実態を踏まえ、近接した配置としている。
- ・プールは北側校舎屋上の東端に計画している。
- ・開放図書館は、一般利用者がアプローチしやすい西側の幅員の道路に隣接させる。
- ・校庭の有効平場部分は約3,150㎡から規模を拡大している(3,480㎡)。※遊具広場含まず
- ・校庭は最長(対角線)の部分で97mとなっている。

5 施設配置 イメージ2

- ・敷地西側校舎集中配置案
- ・3階建て、東側の一部2階建て案
- ・校舎は口の字型プランとし、片廊下型の普通教室を基本に特別教室は中廊下型としている。
- ・普通教室は2～3階に設け、南、東向きの教室としている。
- ・特別教室は、1～3階に設け、北、西側に面した配置としている。
- ・管理諸室は、1階の東側、校庭中央に面した配置としている。その他の室は1～3階に配置している。
- ・特別支援学級は、採光と災害時の避難を考慮し、1階に配置している。
- ・給食室は敷地北側に配置し、従来と同じ北側からの搬入経路としている。
- ・体育館は別棟の計画としている。
- ・プールは南西側校舎屋上に計画している。
- ・開放図書館は、一般利用者のアプローチのしやすさを考慮し、南側道路に面している。
- ・校庭の有効平場部分は約3,150㎡から規模を拡大している(約3,230㎡)。※遊具広場含まず
- ・校庭は最長(対角線)の部分で81mとする。

■協議の進め方について、事務局から説明

(概要)

本日の協議の進め方だが、2つの施設配置案を1つに絞り込むのではなく、このイメージを見て修正すべきところなどの意見を出してもらいたい。その意見を参考に教育委員会と設計会社で具体的に検討を進めていくこととなる。

統合委員会は、校舎の改築に当たって留意すべきことなどを意見書にして教育委員会に報告する役割がある。そのため、施設配置図について意見を伺った後に、統合委員会として取りまとめる意見について協議してもらいたい。

委員長

新校舎の施設配置について説明があったが、質問等あるか。

委員

前回、将来的には特定の部屋でネットワークを使うより、学校のどこでもタブレットが使用できる環境に移行していくのではないかという話があったと思うのだが、PC室は標準仕様に入っているから設置されているのか。あと、体育館は現状より大きくなるのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

今は、標準仕様で示しているものを設置した場合、どれくらいの大きさになるのかを検討している段階で、この資料に入っているから決定というわけではない。実際に設置するかどうかは、今後学校の意見などを取り入れて決定していく。

体育館に関しては現状より大きくしているが、これも確定ではない。これから本当にどれくらいの大きさが必要なのか調整して決めていく。

委員

学校に聞きたいのだが、特別支援学級の教室が1階で、普通学級が2、3階の配置になっている。職員室などに行くときに特別支援学級の前を通ることもあるので、交流という意味では良いとは思いますが、落ちついた静かな学習環境を考えると、この位置で良いものなのか。

委員

私は、この位置でも落ちついて生活できると思うが、逆に、端過ぎると危惧している。これが決定ではないということなので今後検討したい。災害時の避難を考えると1年生を1階に配置することも考えられるが、1階が必ずしも安全とは言えない。全体の図面が出たところで配置について教育委員会と検討したい。

委員

特別支援学級については、安全性や学習環境も大事なのだが普通学級との交流ということも考慮して配置を検討してもらいたい。あと、イメージ2だが、搬入口と児童の出入り口が近いのは、安全上良くないのではないか。子どもたちが活動する時間は、必ずしも登下校とは限らないので、できれば車両の搬入口と児童の出入り口は離してもらいたい。

委員

川治いは校舎の裏側というイメージがあるが、そのようなイメージにならないよう外観などの工夫をお願いしたい。あと、体育館は別棟にしてあるが何階建てなのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

高さ10mという制限があるので、体育館は1層で天井高8mぐらいのものを想定している。

委員

地下にすることはできないのか。例えば、地下に備蓄倉庫を配置するのはどうか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

地下に関しては、今回は難しいと考えている。

委員

それでは、備蓄倉庫の場所は、どこになるのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

管理諸室の中に備蓄倉庫を含めており、2、3階を想定している。

委員

P T Aで防災訓練をしたときに、備蓄しているものを2、3階に上がって取り出すというのは辛いという話が出ていた。いざとなったときに地域の人たちが取り出しやすい場所にしないと活用できないのではないかと。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

避難所としてどのように運用するのも考慮して検討していきたい。

委員

体育館を避難所として利用するならば、備蓄倉庫は体育館の近くにあって安らかな気はする。

委員

これは施設の話ではないのかもしれないが、工事期間の避難所の区分けはどのようになるのか。

事務局

大和小学校が工事のため使えなくなったときの避難所について、なるべく早い段階で説明できるように防災担当に要望している。

委員

それぞれの学校は避難所となっているわけだから、大和小学校の位置に新校舎が完成したときに、若宮小学校がどうなるのかも含めて検討してもらいたい。もし両地区の人が大和小学校の位置に避難してくるということになれば、それなりの備蓄を考えなければならなくなると思う。

委員長

他にあるか。

委員

統合に伴い児童数が増えるので、校庭は実質狭くなると思っている。体育館も今より大きいというのは当たり前で、700人で集会ができるぐらいの大きさでないといけないと思っている。

校庭は実質狭くなるが、植物と親しむことができるよう学級園のようなものをどこかにつくりなればいけないと思う。そのため、屋上庭園にするなど屋上を有効に活用してもらいたい。また、屋上は、子どもの遊び場としての活用も検討してもらいたい。

委員

高さ制限の影響というのは屋上にもあるのか。屋上の場合は、フェンスや柵が対象になるのか。パシフィックコンサルタンツ株式会社

屋上の場合、囲いの種類によって高さとしてみなされる場合がある。一般的なフェンスは高さとしてみなされない場合もあるが、屋上にプールを配置した時の目隠し等の囲いは高さ制限にも影響してくる。一概に何が高さ制限に影響するのか線を引けないところがあるが、確認は必要だと思っている。

委員

設置するものによって違うということか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

そうである。

委員

イメージ2の1階部分は、そこまで日が当たらないのではないかと。子どもたちが暗いところで過ごすというのは、どうなのかと思う。

イメージ1だが、限られた敷地の中で校庭も校舎もより広くしなくてはならないので、木や草はどこに植えられるのだろうか。そういうのがなければ、季節の移りかわりだとか、自然とのふれあいができなくなると思う。しかし、それだからと言って校舎を狭くすれば良いというわけではないので、その辺は難しいと思った。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

これから条件を詰めていく中で、自然を感じる場所をできるだけ確保できるようにしたい。

委員

イメージ1は現状と同じで一般的な学校の配置なので、あとは中身の問題だと思う。イメージ2は、校庭が東側の民家に隣接しているが、本当にこの配置で良いのだろうか。校庭の音は騒音問題にもなるが、今の形の校庭であれば、近隣住民の方はさほど音は気にならないと思う。しかし、新たに東側に校庭を配置する場合は、音について配慮しなければならなくなる。

イメージ1は先ほど意見もあったが、学級園を屋上に配置する案も考える必要があると思う。改築するならば、これから先、統合してよかったと思えるように工夫して良いものにしてもらいたい。

委員長

現在、校庭の芝生化を推進しているが、芝生が残っている学校はほとんどなくて、芝生があっても凸凹の状態である。やはり手入れがすごく大変で、学校関係者の協力がなければ維持できない。そうすると、保護者や学校関係者にも負担がかかる。区で全て管理してくれるのであれば良いが、そうでなければ芝生化はやめてほしい。今の大和小学校のようには水はけの良い校庭にすれば、年間を通じていろいろな活動ができるのでその方が良いと思う。

委員

芝生について学校運営や教育的効果の観点から学校側はどう感じているのか。私も今の意見に賛成で、行政からの助成は一定年限を過ぎるとなくなってしまっているので、PTAや地域の方が面倒を見ている。そのような状況であれば、土の方が良いと思う。

委員

芝生は子どもがけがをしなくて良いというのがメリットである。若宮小学校の芝生は全面ではないが、手入れについても業者が全く撤退するわけではなくて、養生などは業者が対応している。ただ、PTAとかの協力も借りている。

委員

業者の費用はどこが負担しているのか。

区担当

区が負担している。

委員

私は芝生が悪いとは思っていないし、若宮小学校の良い芝を見ると、うらやましいと思ったこともある。ただ、凸凹の問題やメンテナンスのこと、養生期間中に遊べないというデメリットを考えると必要なものなのかと疑問に思う。しかし、現在の大和小学校の校庭は、水はけが良いが砂ぼこりがすごいので、高くして良い人工芝であれば良いのではないかと思った。

委員

養生期間中、700人を超える子どもたちが校庭に出られないというのは、どうなのかなと思う。全面芝生ではなく、どうしても緑が必要であれば、面積を狭くして芝生をどこかに設けることにしてみてもどうか。

委員

屋上に芝生を張れば良いのではないか。それも一つ検討してもらいたい。

委員

芝生の養生期に校庭が使えない学校がある中で、大和小学校は芝生ではないので地区の運動会やサッカー大会の会場になったりしている。学校が全て芝生になったときには、中野区でそういうイベントができるスペースを確保してもらえるのだろうか。今、野球やサッカーができるスペースが少なくなっているところで、大和小学校の校庭はそういった利用されているということも考えてもらえるとありがたい。

委員

現時点で、美鳩小学校の新校舎に芝生を入れるのか検討しているのか。

区担当

まだ検討していない。また、土の場合だと、ほこりの問題もあるので、どのようにするか考えなければならぬと思っている。

委員

土ぼこりの話が出たので、現状のことも伝えた上で設計に生かしてもらいたいが、大和小学校の体育館は、近隣の小学校と比べて滑りやすいと思う。風向きの関係で砂が入りやすいのかわからないのだが、せっかく新しく体育館を建てるのであれば、そのあたりも検証して工夫してもらいたい。

委員長

滑り過ぎるのは危険であるため、よろしくお願ひしたい。

ある程度、意見が出尽くしたと思う。それでは、今までの意見をまとめた資料について事務局から説明してもらいたい。

■「統合新校校舎の改築に関する意見について（たたき台）」、事務局から説明

（概要）

前回までの協議で出された意見をたたき台という形でまとめた。

- ・想定より児童数が増える可能性があることも考慮して、普通教室等を整備していただきたいと考えます。
- ・建築基準法などの規制が厳しいとは思いますが、統合後の児童数を考慮した校庭の広さやトラックの確保など、最大限の努力をしていただきたいと考えます。
- ・キッズ・プラザや地域開放型学校図書館の設置にあたっては、学校関係者以外の動線に十分配慮した配置とするとともに、セキュリティ対策を講ずることで学校運営に支障がないようにしていただきたいと考えます。
- ・普通教室の整備だけでなく、子どもたちが一度に集まることができるスペースや、多目的に活用できる場所を確保していただきたいと考えます。
- ・教室の配置など具体的な検討をするにあたっては、学校と十分に協議し進めていただきたいと考えます。
- ・校舎を建築する位置については、近隣住民に与える影響や校舎が校庭に及ぼす日影の影響などを十分に把握した上で、検討していただきたいと考えます。

委員長

改築に関する意見を本日まとめたいと思うが、事務局案に追加する項目等はあるか。

委員

想定より児童数が増える可能性があることも考慮して、屋上の有効活用について加えてもらいたい。遊び場や屋上緑化なども含めて考えてもらいたい。

委員

校舎を建築する位置の意見に、音への配慮についても加えてもらいたい。昨今、幼稚園や保育園、学校の声が騒音扱いされる時代なので、子どもたちが安心して伸び伸び過ごすためにはまず、学校をつくる段階でも近隣から責め立てられないような工夫をしてもらいたい。

委員

備蓄倉庫は1階のわかりやすいところに配置してもらいたい。

委員

場所は特定しなくて良いが、防災関係の備蓄などは活用しやすい場所にしてもらいたいので、文言に追加して欲しい。

委員長

ほかに文章の修正や追加したい項目はあるか。

委員

上から4番目に「普通教室の整備だけでなく、子どもたちが一度に集まることができるスペースや多目的に活用できる場所を確保」とあるが、広いスペースを取って欲しいというように捉えられてしまう。広さより、学校が目指す姿に対して柔軟に対応できるよう整備してもらいたいので

だが、どうか。

事務局

この意見は多目的に活用できる場所を確保するという主旨だが、その次の意見にもあるように今後校舎をどういったものにしていくかについては、使用する学校と協議をしながら柔軟に対応していきたいと考えている。

委員

その次の意見に含まれるということか。

事務局

そうである。ただ、多目的という部分を強く出す必要がなければ要望項目から落とすことも考えられるかと思う。

委員

これはそのまま入れておいてもらいたい。

委員

先ほど備蓄倉庫に関して追加して欲しいという意見があったが、大和小学校の地区は水害の被害があった。そのこともあって、現在、備蓄倉庫が2階に設置されている。調節池ができたとはいえ、想定外の災害ということが考えられるので、1階に備蓄倉庫を持ってくる場合は、その辺のところも踏まえて考えてもらいたい。

委員

私は、体育館を避難所として使うので1階に備蓄倉庫があったほうが物品を出すのに便利だと思った。水害のことも考えると2階にあった方が良いというのもわかるが、もし1階が濡れるような場合は、体育館も使えない可能性がある。そうすると2階に備蓄倉庫を配置したとしても実際には使えないことになる。教室など空きスペースがあるからそこに避難するというのも考えられるので今後検討していきたい。こういう議論があったことが大きいと思う。

委員

1階にあるか2階にあるかよりも、1階にあった場合のリスクと2階にあった場合のリスクにどう対応できるかということが重要だと思う。

委員

緊急避難用のシューターみたいなものは設ければ、備蓄倉庫が2階だったとしても荷物を容易に降ろせるのではないか。

委員

2階に配置した場合は、2階でも体育館に運びやすくするような工夫が必要だと思う。

委員

先ほど特別支援学級のことも意見が出ていたが、追加しなくても良いのか。特別支援学級のことは含まれているのか。

事務局

下から二つ目の「教室の配置」とあるが、特別支援学級の教室も含めて学校と十分に協議して決めていきたいと考えている。

委員長

他にあるか。

委員

児童数が増えることになるが、避難経路は特に問題ないのか。校舎の配置を見るとイメージ1と2では、避難までの距離が大分違うと思った。

委員

避難経路については新校舎ができてから考えることになるが、避難経路も考慮して設計されるのではないか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

建築基準法上、避難するための直通階段を整備することとなる。避難経路も考慮したプランに

したい。

委員

イメージ1だと昇降口が2カ所ある。火事が起きる可能性が高いのは給食室であり、昇降口と2つの階段が給食室の隣にあるのは怖いと感じた。配置は検討してもらいたいと思う。

委員長

それは意見として加えるべきか。

委員

意見に加えなくて良いが、今後設計するに当たって、そういったところも含めて検討してもらいたい。

委員長

他にないか。なければ、今まで出た意見を事務局に整理してもらおう。

事務局

「屋上の有効的な活用について検討して欲しい」、「騒音のことも考慮して校舎の配置を検討して欲しい」、「避難所として使うことも想定して配置を検討して欲しい」、この3点を加えるような形でよろしいか。

委員長

今の内容を文章に加えることでよろしいか。

— 異議なし —

委員長

それでは事務局は、今までの意見をもとに、統合新校舎の改築に関する意見を作成してもらいたい。最終的な内容については、委員長、副委員長と学校長で調整させてもらうがよろしいか。

— 異議なし —

事務局

取りまとめた意見書は、後日、各委員に郵送する。また、施設に関するアンケート結果も郵送でお知らせする。

委員長

予定していた議題は以上だが、何か発言したいという委員はいるか。

委員

先日、大和小学校で校庭から西大和公園へ移るという防災訓練をしていた。学校は防災拠点になるが、万が一、校舎に危険性がある学校にいられないときも、人数が倍以上に増えると全然違うと思う。そういったところも、行政で考えてもらいたい。

委員

今の話は二次避難場所のことだと思うが、それは行政ではなく学校が考えることである。その防災訓練は、火事があって校庭が危ないという想定での訓練である。その場合は、せせらぎ公園まで歩くしかないと思うが、それは統合新校になってから考えれば良いことだと思う。学校によっては二次避難場所がないという学校もある。

委員

そのような学校があるのか。

委員

ある。そういう場合は、家庭に引き渡しができるような体制を考えておくことになる。

委員長

他に何かあるか。なければ最後に次回の開催日について説明をお願いします。

事務局

本日、改築について意見を取りまとめることとなったため、次回は校旗や校歌が完成した後の1月下旬から2月中旬ごろに最終回として開催したいと考えている。日程については、後日連絡

したい。

委員

最後の統合委員会の時に、校舎の設計は、どの段階までできているのか。

子ども教育施設担当

細かい配置は出せないかもしれないが、校舎のどこに普通教室や特別教室が入るのかといったようなおおまかなものは示せると思う。その内容は議会に報告し、区民への説明会なども行う予定である。

委員長

次回の最後の統合委員会には、施設についても概略的なものは出てくるということである。また、校旗や校歌など披露されるとのことである。

それでは、本日の統合委員会はこれで終了する。